



# 小さな声を形に! 伊藤こうへい通信

## 平成29年度 予算審査特別委員会で会派を代表して意見表明(抜粋)

新年度予算案は、編成前に約102億円の収支不足が見込まれ、歳入確保や歳出削減の取り組みがなされているものの、退職手当債の発行や市債管理基金からの借り入れなど、依然として厳しいものとなっております。

そうした中であって、胃がん対策などの医療・健康づくりの推進、産前・産後ケアの充実、そして、地域包括ケアシステムの施策の拡充など、市民福祉の向上に向けた取り組みが進められていること、また、中小企業への支援など地域活性化に向けた取り組みも確認できました。さらには、財政健全化への取り組みも進められていると承知しており、市民の意見や要望を集約した公明党市議団の平成29年度予算編成に関しての要望に対しても真摯な取り組みがなされていると判断し、新年度予算案を評価すべきものといいたしました。

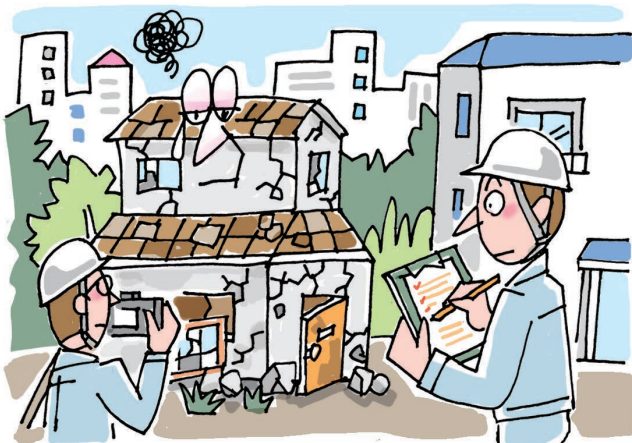


## 平成29年度 第1回定例会 公明党代表質疑における 「空き家対策」について

**質問** 空き家等対策の推進に関する特別措置法の施行から3年目を迎えようとしております。空き家対策の遅れを取り戻すべく、予防的な視点からの住宅ストックの良質化への取り組み、良好な住環境の保全や形成についての見解をお示しください。

**副市長の答弁** 住宅ストックの良質化について、耐震性や省エネ性、耐久性などに優れた高品質の住宅やマンションの供給を目指し、住宅性能評価制度や長期優良住宅認定制度などの普及に努めている。耐震性能が十分でない既存住宅の安全性の向上を促進するため、耐震改修の支援や啓発を行っており、特に分譲マンションでは、耐震改修などを行う際の合意形成が重要であり、そのための支援も行っている。

良質な住環境の保全や形成については、品質の高い住宅を当初より建設することや、必要な手入れ



を行いながら建物を使い続けていくことで、次世代に良質な資産として受け継ぐことが重要と考える。しかしながら、現状は、維持管理について所有者としての意識が高くない方がいることや、中古住宅の流通について新築住宅に比べ情報が少ないことなどにより、十分とは言えない状況となっている。今後、空家等対策計画を策定する中で、当事者意識を高めるための啓発や相談体制の充実、中古住宅の流通を活性化する仕組みづくりなどについて検討していく。

## ◆国土強靱化地域計画の策定

大規模自然災害が発生しても機能不全に陥らない、迅速な復旧・復興が可能な都市を目指し、国土強靱化地域計画を策定する。

## ◆空き家等の実態調査

空き家対策を総合的に進めるため、市内の空き家等の実態調査を行う。

## ◆防犯カメラの設置に対し補助金の交付

犯罪の抑止を目的に、町内自治会等が設置する防犯カメラの設置経費に対して、補助金を交付する。

補助率は設置経費の2分の1で、補助の上限は1台あたり20万円。



## ◆成人雑誌の陳列対策

青少年の健全な育成を阻害するおそれのある成人向け雑誌の陳列対策を、学校近隣のコンビニエンスストア12店舗でモデル的に実施。

## ◆剪定枝等の再資源化の推進

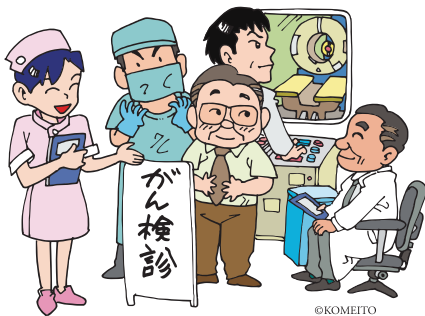
家庭から排出される剪定枝等の分別収集を全市域で実施し、ごみの減量・再資源化を進める。

収集回数は、月2回。

中央区：平成29年4月、若葉区・緑区：平成29年9月、花見川区・稲毛区・美浜区：平成30年2月から実施。

## ◆胃がん検診にピロリ菌抗体検査、胃内視鏡検査を導入

胃がんとの深い因果関係が判明しているピロリ菌検査を試行実施するとともに、胃内視鏡検査を導入。



- ▶ピロリ菌検査の対象は20・25・30・35～39歳。
- ▶胃内視鏡検査の対象は50歳以上(平成29年度は偶数歳)で、隔年の実施。
- ▶胃部エックス線検査は、対象を40歳以上に引き上げる。

## ◆介護ロボットの普及

装着型介護ロボットを市が購入し、介護施設などに貸し出しを行い、介護ロボットの普及や介護職の離職防止につなげる。

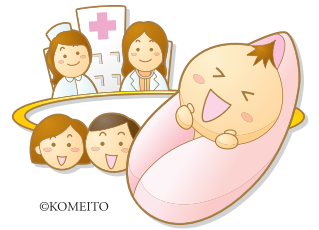
# 平成29年度予算に反映された 主な公明党市議団の提案・要望

## ◆妊娠・出産の包括支援

妊娠期から子育て期まで切れ目ない支援を実施し、安心して子育てができるよう、特に妊娠中から産後早期の支援体制を強化する。

### ▶母子健康包括支援センターの設置

保健福祉センター健康課内に専門職(助産師または保健師)を配置し、妊娠・出産・子育てに係る相談・支援を行う。



### ▶産後ケア

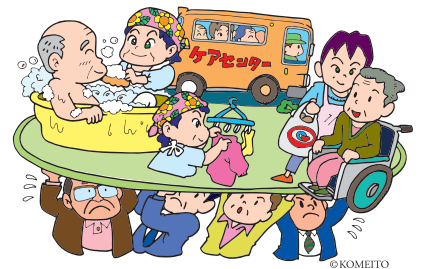
助産師による、乳房マッサージを含む産婦および乳児の心身のケア、沐浴・授乳の実技指導、子育てに関する相談・助言指導および休息ができる産後の支援体制を整備する。

## ◆生涯現役応援センターの設置

高齢者の心身の状況に合わせた就労や、地域活動など多様な社会参加ニーズに対応するため、相談窓口や一元的な情報提供を行い、社会参加を促す拠点として、ワンストップサービス窓口を稲毛区役所内に整備する。

## ◆地域包括ケアシステムの推進

地域包括ケアシステムの構築を進めるため、あんしんケアセンター(地域包括支援センター)を24か所から30か所に増設する。また、認知症の早期診断・早期対応に向けて認知症初期集中支援チームを2か所から3か所に増設。



## ◆障がい児・者の地域生活支援拠点の整備、グループホームの整備助成

障がい者の高齢化・重度化や「親亡き後」を見据え、障がい児・者が住み慣れた地域で安心して暮らしていけるよう、様々な支援を切れ目なく提供できる仕組みの構築を進め、グループホームの整備促進に向けて助成を行う。

## ◆放課後子ども教室の推進

### ▶子どもルームとの一体型による運営(モデル)

稲浜小学校において、希望する全ての子どもたちが、家庭環境に関わらず一緒に過ごし、多様な体験機会が得られる居場所を提供。

市政に関するご意見ご要望をお寄せください。

千葉市議会議員

伊藤こうへい

〒261-0001 千葉県美浜区幸町2-11-16-207

Tel/Fax.043-301-3841

<http://www.komei.or.jp/km/chiba-ito-kohei/>

<https://www.facebook.com/kohei.ito.906>